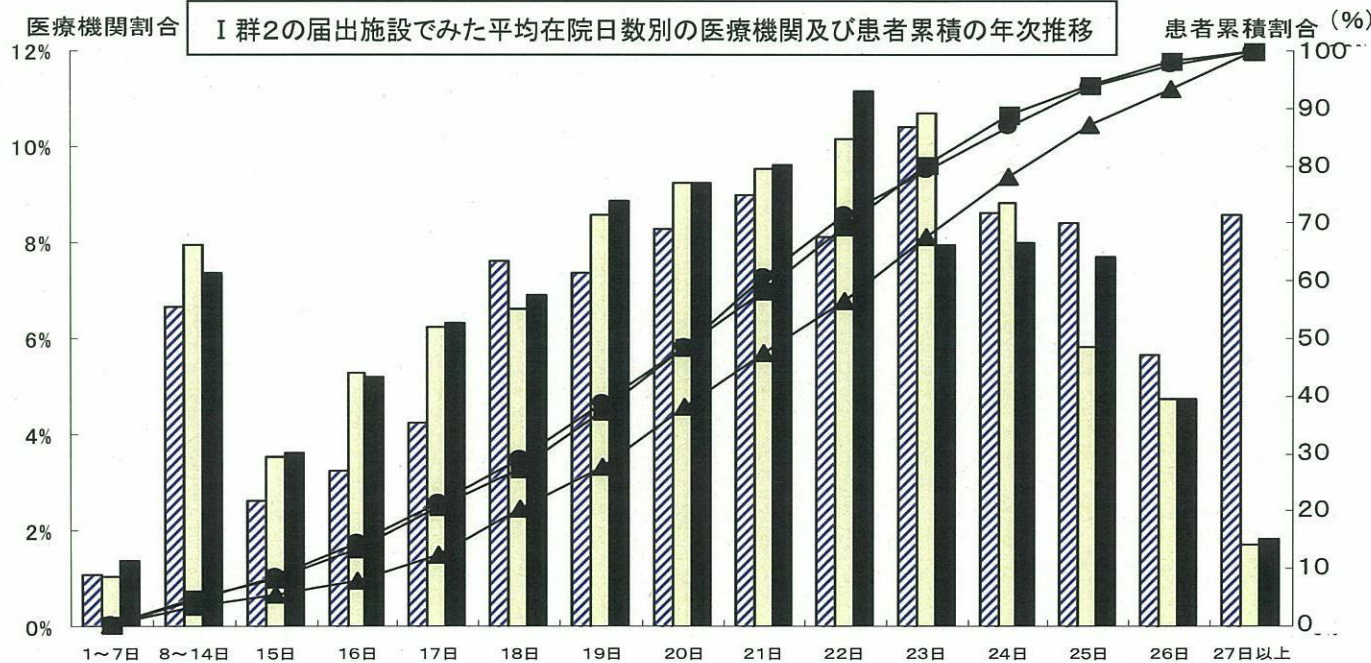
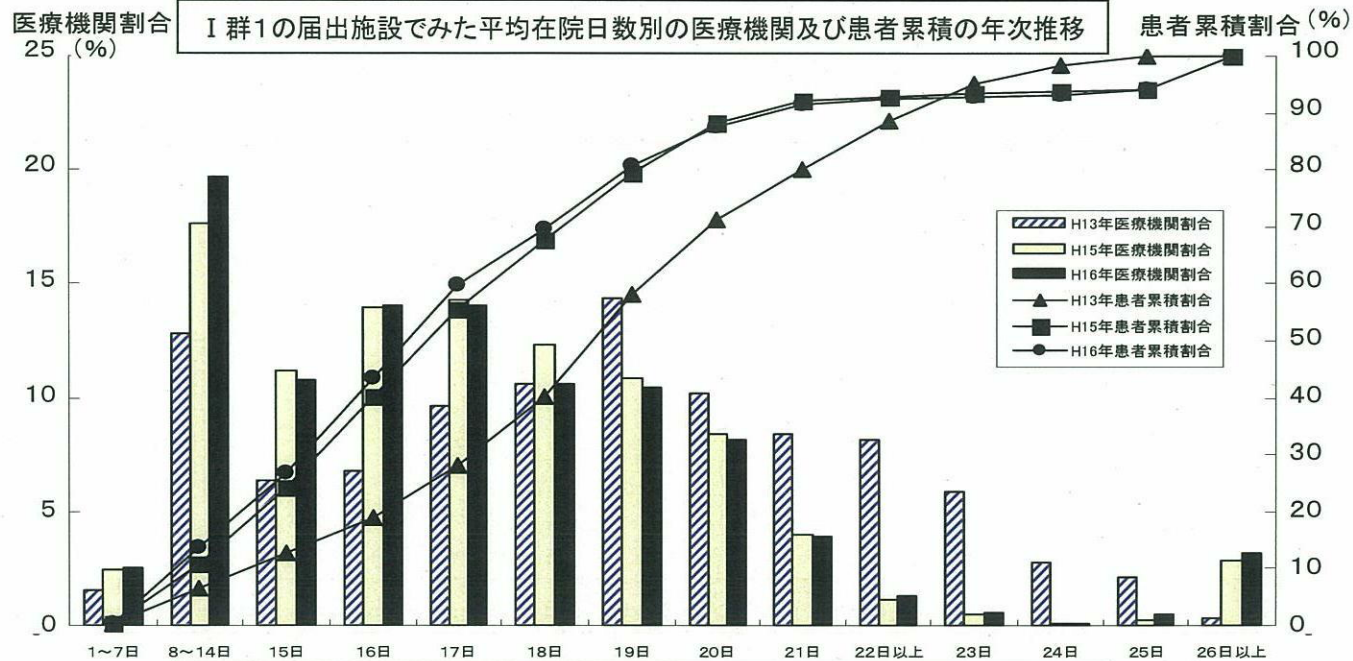


○一般病棟の平均在院日数要件の変遷

	昭和63年	平成4年	平成6年	平成10年	平成12年	平成14年
看護サービスの評価	特3類看護新設		新看護体系創設		入院基本料創設	
	(看護要員配置2:1)		(看護職員と看護補助者配置を区分)			
平均在院日数	20日以内特3類看護	25日以内 要件緩和	30日以内 2:1看護、 2.5:1看護	25日以内 要件短縮・拡大、 特定機能病院への導入		21日以内 要件短縮 (一般病棟のみ)
		※悪性腫瘍、循環器疾患等の高度・専門的病院は除外		2:1看護 30日→25日 2.5:1看護・特3類看護 30日→28日 3:1看護・特2類看護 (一般病棟のみ) なし→60日 3.5:1看護・特1類看護 (一般病棟のみ) なし→90日 特定機能病院 2:1看護33日 2.5:1看護36日		入院基本料1(2:1) 25日→21日 入院基本料2(2.5:1)) 28日→26日

○入院基本料届出施設における平均在院日数の分布状況[平成13～15年の推移](別紙7)



平成16年7月1日現在医療課調査